

2020年度社会福祉法人ゆめグループ福祉会 事業計画

1. 社会福祉法人ゆめグループ福祉会の基本理念

社会福祉法人ゆめグループ福祉会は以下の理念のもとに事業を実施します。

- 1) 障がいのある人々の権利を守り、その選択と自己決定を尊重します。
- 2) 障がいのある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられる支援を行います。障がいを問わず、ともに交流し、ともに働き、ともにくらす場をつくります。
- 3) 障がいのある人たち・その家族・地域住民のねがいにもとづき、地域に根ざした、開かれた施設をつくり、地域の福祉の向上をめざします。

2. 本年度の重点施策

以上の理念に基づき、利用者中心の事業を一層充実させていく。さらに加えて今年度は以下のような具体的な課題に重点的に取り組みます。

- 1) ドリーム第2分室ドリーム第3（仮称）を新設し、その運営を軌道に乗せる。
2020年5月に、ドリーム第2分室ドリーム第3（仮称）を新設する。
カフェの営業を行う分室とし、その運営を軌道に乗せる。
- 2) 長期展望にもとづく長期計画の策定
法人整備長期計画の検討・策定を進める。長期計画検討のための構想づくりの委員会を設置し、検討する。
- 3) 利用者主体の障害者福祉サービス事業の充実化をはかる。
利用者の満足度をはかる。
苦情処理体制を充実させる。
利用者支援の取り組みの充実を図る。
（サービス等支援計画、契約、個別支援計画、支援方法、支援記録）
虐待防止に関する研修の充実を図る。
- 4) グループホームの運営の安定化、充実化のための組織的な取り組みをする。
グループホーム運営・支援のアドバイス・相談ができるグループホームスタッフ会議の充実

グループホーム職員研修機会の拡大
グループホーム職員の定着支援

5) 職員参加による研修体制の充実

キャリアパス支援の制度の充実を図る。

定例研修会の実施

外部研修機会の拡大

自己学習機会の支援

6) 職員の処遇改善、働き続けられる職場作りをはかる。

多様な世代の職員がキャリアを積みながら長く働き続けられるように
給与体系や手当を見直し改善を図る。

7) 地域連携の取り組みをつよめる。

地域交流としての「ゆめ祭り」を継続して開催する。

地域に開かれた施設として移動販売を積極的に行う。

他団体主催の販売については売り上げや宣伝効果などを精査し位置づけ
を明確にしたうえで参加する。

8) 災害対策を強化する。

災害用資材や食料の備蓄を進める。防災計画も策定していく。

避難訓練を実施する。帰宅困難者対策条例も視野に入れる。

既存建築物の耐震補強の実施をはかる。

3. 事業運営

1) 社会福祉法人ゆめグループ福祉会は、以下の事業を実施する。

各事業の事業計画、予算案は別紙に示す。

事業	事業所名	定員	在籍
就労継続支援B型	ゆめ工房	30	32
	ゆめ工房北砂	25	25
	ふれあい工房	20	23
	ドリームクラブハウス	20	21
	ドリーム第2 及び分室リサイクル工房サラエ	35	41

多機能型	生活介護	ネットワークゆめ工房	10	10
	就労継続支援B型		10	10
共同生活援助		ひだまり第3	5	5
		ひだまり第4	5	5
		いぶき寮	5	5
		丸山ハイツ	5	5
		東砂ハウス	7	7
居宅介護 同行援護	重度訪問介護 移動支援	地域交流支援センター		
特定相談支援		ゆめ相談支援事業所		
公益事業 生活寮の運営		生活寮ひだまり	4	4
		生活寮ひだまり第2	5	5

2) 年間の共通の行事を以下のとおり実施する。

2020年

4月 入所式 ゆめグループ全体会

5月 メーカー参加

6月 旅行宿泊訓練：水上温泉

7月 地域の夏祭り(江東・墨東特別支援学校)参加

8月 旅行宿泊訓練：七時雨ゆめのつどい：岩手県

8月 プール(江東・墨東特別支援学校)利用

9月 きょうされん全国大会

10月 ゆめまつり

12月 江東区障害者福祉大会参加

ゆめグループ望年会

2021年

1月 成人・還暦祝い、餅つき

江東区障害者作品展参加

3月 ゆめグループ全体会議

*消火・防災訓練年2回実施

4. 理事会・評議員会の開催

1) 理事会

第1回理事会 2020年 5月 2019年度事業報告、決算

第2回理事会	2020年 9月	長期計画について
第3回理事会	2020年12月	補正予算、事業計画について
第4回理事会	2021年 3月	2020年度事業計画、予算

2) 評議員会

第1回評議員会	2020年5月	2019年度事業報告、決算
第2回評議員会	2020年12月	補正予算、事業計画について
第3回評議員会	2021年3月	2020年度事業計画、予算

2020 年度ゆめ工房事業計画

ゆめ工房

事業所名	ゆめ工房
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂 1-14-4 1階
管理者	岡田 芳久
事業の目的	<p>障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援をおこなう。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p> <p>文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるように支援する。</p> <p>集団を基礎とした人間関係を中心に置き、作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。</p>
事業の内容	<p>●「はなすこと」を活動の基礎に置く、適切な声量・主語をはっきり・聞くと話すのキャッチボールが成り立つようにする</p> <p>●受け身ではないやりたい気持ちを育てる支援</p> <p>●やれることはやろうという気持ちを作る支援</p> <p>作業(労働)</p> <p>① ダイレクトメール発送作業（タックシール貼り、封入など）</p> <p>② パソコン（名刺作成など）の人材育成</p> <p>③ 下請け作業（部品はめ込み、のり袋詰め、学校教材組み立て）</p> <p>④ 準備から後片付けまで作業をひとりでこなせる人を育成する</p> <p>⑤ コピー用紙袋詰め</p> <p>⑥ 口腔衛生商品販売の拡大（児童分野）</p> <p>⑦ 自主製品の作成（コーヒーがら消臭剤）新規製品試作（利用者だけで製造できるもの）</p> <p>⑧ むしばんの移動販売再開定期化、新製品開発（季節特別メニュー）北砂二丁目公園脇道路販売テスト</p> <p>日課</p> <p>① バランスのとれた昼食への切り替え</p> <p>② 障がいに応じた一口食など形態の工夫</p> <p>③ 歩く活動を意識的に取り入れる</p> <p>④ 昼休み後のストレッチ、ラジオ体操をしっかりとやる</p> <p>文化的活動</p> <p>① 創作活動（月1回）美術作品の制作、ギャラリー展示会</p> <p>② 作品展への出展（きょうされん作品展・江東区作品展）</p> <p>③ 東京都障害者スポーツ大会への参加支援</p> <p>④ 学習会（手話など）</p> <p>⑤ 軽音楽、陶芸教室など課外活動</p>

	<p>自治活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① リーダー会議 ② メンバー自治会の組織、定例会議 ③ 「何でもやろうかい」の立案・実施 利用者中心での企画、利用者要望により外出行事を入れる ④ 各種行事実行委員会、メンバー年1回は実行委員会に ⑤ 帰りの会のひとこと <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 宿泊訓練(1泊2日)または自然体験訓練(岩手県) ② 希望者には送迎を実施する ③ 給食は実施しない(仕出し弁当を斡旋する) ④ 利用者アンケートの実施、第三者評価受審 ⑤ 高齢化への対応、各介護保険事業者との連携 ⑥ 障害についての学習会実施
<p>健康管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 感染症対策 ② 年1回の健康診断を実施する(保健所で実施) ③ 手洗い、うがいなどの励行 ④ 誤嚥防止の支援 ⑤ 体重、血圧定期測定の支援 ⑥ 都派遣の歯科専門家の研修講師の招へい
<p>年間計画</p>	<p>4月 入所式 ゆめグループ全体会 コロナウイルスの推移をにらみながら</p> <p>5月 メーデー(今年は自由参加)</p> <p>6月 宿泊訓練</p> <p>7月または8月 自然体験訓練</p> <p>8月 プール(江東、墨東特別支援学校)、夏休み</p> <p>9月 きょうされん全国大会</p> <p>10月 ゆめまつり</p> <p>12月 江東区障害者福祉大会 望年会</p> <p>1月 成人式・還暦祝い、餅つき(別日開催も視野に入れる)</p> <p>江東区障害者作品展</p> <p>3月 ゆめグループ総括会議</p> <p>外出訓練を年2回実施する。(通称何でもやろう会)</p> <p>消火・防災訓練年2回実施</p> <p>ゆめグループの地域開放事業実施ゆめまつり</p>

その他	<p>利用者支援</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 給料と評価基準の明確化を利用者が理解できる形で進める。目標を持つ人の工賃面での評価 ② 利用者・職員に対するアンケートの実施 ③ 利用者・職員に対する経営状態の公開 ④ 相互の障害の理解のための学習会など実施 ⑤ 就労希望者には情報提供と実践力を培う練習との両面で就労支援を行う。 ⑥ 新規利用者獲得 ⑦ 利用者、職員の雑談力をつける ⑧ 個別支援計画の面談を各支援員で分担し、作成することを試行する。 ⑨ 一週間の見通しを持てるように支援する（週間予定表など） <p>職員</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、職員、サービス管理者、利用者との話し合いを定期的に行う。 ② サービス等利用計画の立案への協力、対象者を増やす ③ 職員の指導力を高めるための研修を実施する。（自閉症スペクトラム、高次脳機能障害の社会行動障害） ④ 職員との個別面談 ⑤ 作業内容の絞り込みなどにより職員がイベント担当などを効率的に進めることができるよう配慮する <p>環境</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 環境整備を進める。整理整頓。 ② 温度、湿度などの適正管理、障害に合わせた体温調整の工夫 ③ パーティションの活用による集中できる環境づくり。 <p>管理運営</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高齢化重度化を踏まえ今後について検討を行う ② 工賃による訓練費格差については各所に不合理を訴えていく。 ③ 高齢障害者中心の事業所か、多様な年齢の事業所か将来の方向を考える。押しつけの地域包括支援ではない専門家ネットワークづくりに向けて方向を考える ④ 職員の仕事マニュアルづくり ⑤ 作業所の中期計画案づくり ⑥ 就労中、在宅など元利用者などのアフターケア ⑦ サービス提供記録整備、電子記録の活用検討 ⑧ 虐待防止研修など全員で受講
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2020年度ゆめ工房北砂事業計画

ゆめ工房北砂

事業所名	ゆめ工房北砂	
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会	
事業の種類	就労継続支援B型	
所在地	東京都江東区北砂一丁目14番4 2F	
管理者	安部 慎太郎	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人たちの生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるよう、適切な支援を行う。 ・文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する。 ・集団を基礎とした人間関係を中心に置き、作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。 ・他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。 	
2020年度目標	<p style="text-align: center;">「楽しい北砂をつくろう」</p> <p>相手を思いやる気持ち・行動を心がけ、よりよい対人関係の構築必要に応じて様々なルール・役割を作ります。</p>	
事業内容	作業（労働）	<p>収入 3,500,000 円を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下請け作業 収入 1,700,000 円 印刷物の封入作業、ダイレクトメール発送作業、ビニール袋の検品作業、 ・菓子製造業 収入 1,700,000 円 手焼きせんべい、石焼き芋、芋けんぴ、揚げせんべい、芋菓子、焼きとうもろし、季節限定商品を砂町銀座・西大島を売り歩く。社協「まごころ市」、専門学校・特別支援学校・企業等で販売する。また、新商品の開発や販路拡大も目指す。 ・自主製品 収入 100,000 円 エコクラフト（小物入れ、カトラリーケース）、新商品の開発 <p>※毎月、振り返りの会議をする。 収支報告⇒工賃にいくら使うか検討する。また、気づいたことから協議し来月の目標を定める。</p>

	日課	<ul style="list-style-type: none"> ① 出勤簿に判を押す・出席をとる ② お弁当の注文確認 ③ 体操・ストレッチ・スクワット ④ 掃除 ⑤ 朝の会（今日やることの確認・共有、連絡事項） ⑥ 昼休み（昼食・歯磨き） ⑦ 午後の確認（午前やったことの確認、午後やることの確認） ⑧ 帰りの会（今日やったことの確認・共有、連絡事項） ⑨ 三役会議（リーダー・サブリーダー・会計で出勤簿の確認、作業出勤簿の確認、業務日誌をつける、明日の予定について）
	文化的活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 創作活動（月1回） 美術作品の制作 ② 作品展への出展（きょうされんグッズデザインコンクール、かかしコンクール、障害者作品展、など） ③ スポーツ系のレクリエーション ウォーキングなど（月1回） ④ 東京都障害者スポーツ大会への参加（希望者） ⑤ 手話教室（希望者） ⑥ 軽音サークル（希望者）
	自治活動	<ul style="list-style-type: none"> ① リーダー会議 ② メンバー自治会の組織 ③ 「なんでもやろうかい」の立案・実施 ④ 各種行事实行委員会
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 宿泊研修 6月群馬県水上温泉（1泊2日）か8月岩手県七時雨（2泊3日）を選択する ② 避難訓練（2回） ③ 希望者には送迎を実施する ④ 給食は実施しない。個人の身体・収入に合ったものを自分で選択することを目指す。買い物支援・仕出し弁当を斡旋する。
健康管理		<ul style="list-style-type: none"> ① 年1回の健康診断を実施する 利用者は保健相談所、職員は診療所と契約 ② 手洗い・うがいの励行 ③ 必要に応じて通院同行や食事の補助など

年間計画	<p>4月 ・入所式・ゆめグループ全体会（事業計画について）</p> <p>5月 ・メーデー（有志）</p> <p>・障害者スポーツ大会参加（有志）</p> <p>6月 ・宿泊研修（1泊2日）</p> <p>群馬県水上温泉 6/4（木）～6/5（金）</p> <p>7月 ・江東特別支援学校夏まつり</p> <p>8月 ・宿泊研修 七時雨（2泊3日）</p> <p>9月 ・プール（江東・墨東特別支援学校借用）</p> <p>・きょうされん全国大会@和歌山（2泊3日）</p> <p>10月 ・江東区民まつり</p> <p>・ゆめまつり</p> <p>12月 ・江東区障害者福祉大会・望年会</p> <p>1月 ・成人還暦祝い・餅つき</p> <p>2月 ・江東区障害者作品展</p> <p>3月 ・ゆめグループ全体会（総括会議）</p>
その他	<p>① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行う。</p> <p>② 職員の指導力を高めるための研修を実施する。また、外部の研修にも積極的に参加を促す。</p> <p>③ 利用者・職員に対するアンケートの実施</p> <p>④ 利用者・職員に対する経営状態の公開</p> <p>⑤ 相互の障害の理解のための語る会など実施</p> <p>⑥ 就労希望者には、情報提供や履歴書の書き方、面接に同行するなどの支援を行う。</p>

2020年度ネットワークゆめ工房事業計画

ネットワークゆめ工房

事業所名	ネットワークゆめ工房
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会
事業の種類・定員	生活介護・10名、就労継続支援B型・10名、(現在籍10:10)
2020年度の在籍 予定	生活介護・12名、就労継続支援B型・9名 *定員の変更を検討する(生活介護12名、就労継続支援B型8名)
所在地	江東区北砂1-17-4 稲見北砂ハイツ1階
管理者	柳 春夫
事業の目的	<p>障がいのある人たちが生きがいある生活を送れるよう支援する。 特に障がいの重い利用者に視点をあて生活介護事業を重視する。 障がいの重い利用者の介助について研修し「安全安心」を重視する。</p> <p>労働の場を提供し、更には地域の人々と交流し共生する場を実現できるように努力する。</p> <p>他の支援機関と協力し一般就労実現のため支援する。</p> <p>文化活動やスポーツ活動など多様な取り組みを行い、利用者の力を充分発揮できるように支援する。</p> <p>生活リズムを大切にし、障がいと付き合いながら、健康を維持・増進するための取り組みをすすめる。</p>
事業の内容	<p>作業(労働) ①軽作業(下請け作業)</p> <p style="padding-left: 20px;">紐通し・結び マグネット封入 入浴剤(塩)封入 ゆめニュースの発送など</p> <p>②自主製品の製造販売</p> <p style="padding-left: 20px;">陶芸 ポストカード、年賀状制作 ワニプル(プルトップを使ったストラップ)</p> <p>③アルミ缶リサイクル</p> <p>文化活動 ①創作活動</p> <p style="padding-left: 20px;">絵画(多様な画材)、パソコンによる作画、陶芸 *創作教室(月一回。専門講師が指導)</p> <p>②作品展への参加</p> <p style="padding-left: 20px;">きょうされんコンクール、江東区障害者作品展</p> <p>③スポーツ活動</p> <p style="padding-left: 20px;">東京都障害者スポーツ大会(希望者)</p> <p>④学習会</p> <p style="padding-left: 20px;">障がい者問題、手話など</p>

	<p>⑤クラブ活動 軽音楽クラブ、陶芸教室、パソコン教室</p> <p>自治活動 ①仲間の会（利用者組合）への参加 ②「何でもやろう会」（年3回程度）の企画・実施</p> <p>その他 ①宿泊研修・訓練（1泊2日又は2泊3日） ②希望者への送迎の実施 ③給食は実施しない。（仕出し弁当を斡旋する）</p>
健康管理	<p>年一回の健康診断を実施。（保健所）</p> <p>嘱託医による健康相談と指導の実施。</p> <p>非常勤看護師の勤務時間を必要に応じて増やす 昼エリアを利用しての休養時間を設ける。</p>
年間計画	<p>4月 入所式 ゆめグループ全体会（年間計画）</p> <p>5月 障害者メーデー（有志参加）</p> <p>6月 宿泊研修（水上1泊）</p> <p>7月 地域との夏まつり（江東特別支援学校）</p> <p>8月 学校開放プール（江東、墨東特別支援学校） 宿泊研修（岩手2泊）</p> <p>夏休み</p> <p>9月 きょうされん全国大会（代表） 地域との秋まつり（墨東特別支援学校）</p> <p>10月 区民まつり</p> <p>12月 区福祉大（有志）</p> <p>1月 成人・還暦の会</p> <p>3月 ゆめグループ全体会（総括会）</p>
その他	<p>①個別支援計画の作成・検討・改善に取り組む。利用者・保護者との話し合いを行なう。 サービス等利用計画の作成を支援する。</p> <p>②職員の支援力向上のために研修を行う。 重度の肢体不自由者の介助についてネット独自の研修会を持つ</p> <p>③就労希望者に、情報提供と具体的な求職活動への支援 に取り組む。</p> <p>④老朽化した施設設備の改修・交換をすすめる。</p> <p>⑤近い将来、生活介護に特化した運営に移行するため、具体的な準備を進める。</p> <p>⑥65才をすぎた利用者の介護保険利用の諸問題に対処する。</p>

2020年度ふれあい工房事業計画

ふれあい工房

事業所名	ふれあい工房	
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会	
事業の種類	就労継続支援B型	
所在地	〒135-0015 東京都江東区千石2-2-5	
連絡先	電話 03-6458-7085 FAX 03-6458-7086	
事業の目的	<p>店舗を通して、生産者と地域のお客様との仲立ちや、地域と密着し、お客様と直接かかわる仕事の中で、生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるように支援を行う。</p> <p>文化活動・創作活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労に向け支援をする。</p>	
事業開始年月日	平成22年4月1日	
職員体制	<p>管理者：中村 幸江 副施設長、サービス管理責任者：緑川 亮介（裏方班） 店舗班担当 関家 悠史 喫茶班担当 高橋 幸子 ベーカリー 姜 恩慶 ベーカリー（パート）中村 英理子 ベーカリー（パート）石川 千里 送迎（パート） 宇田川 繁</p>	
利用者の定員等	<p>就労継続支援B型 定員20名 現員23名 身体：6名 知的：9名 精神：7名 男性8名 女性15名 平均年齢39.2歳</p>	
事業内容	作業 (労働)	<p>① 産直野菜の仕入れ（岩手、千葉、）・販売 ② 天然酵母パン、菓子の製造・販売・新商品開発 ③ カフェコーナーでのドリンク・ランチ提供 ④ 外部販売（企業、社協、保健相談所、各イベント）の拡大 ⑤ 体に優しい食品、日用品仕入れ・販売 ⑥ 復興支援活動（仕入販売、イベント開催） ⑦ コミュニティスペースとしての店舗活用（会議・研修会・ワークショップなど） ⑧ 広報活動（HP、フェイスブック、ブログ、ポスティング）</p>

	日課	<ul style="list-style-type: none"> ① 朝の会で接客基本用語、身だしなみチェック ラジオ体操 ② 昼食後の歯磨きを徹底、昼食後のウォーキング ③ 14時の仕事確認後、5分ストレッチを行う ④ 毎日の清掃以外に、週一回担当場所を集中して掃除をする
	文化的活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 創作活動（月1回） 美術作品の制作 ② 作品展への出展（きょうされんグッズデザインコンクール、障害者作品展、など） ③ 学習会（手話など）
	自治活動	<ul style="list-style-type: none"> ① リーダー会議 ② 自治会（仲間の会）の活動 ③ 各行事実行委員会
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 宿泊訓練 ② 岩手県「ゆめのつどい」 ③ 希望者には送迎を実施する ④ 第1第3土曜日を開所 （当該週の水曜日は休みとする）
健康管理	<p>年1回の健康診断を実施し、個別に結果を伝え、その後の健康状態に注意しながら把握する。</p> <p>女性の健康管理を実施する</p> <p>運動不足解消のため、月1回スポーツ会館等で「運動の日」を実施する。</p> <p>通院、服薬の状況を確認する。</p>	
年間計画	<ul style="list-style-type: none"> 4月 入所式 ゆめグループ全体会（事業計画） 5月 メーデー なんでもやろう会① 6月 ゆめグループ研修旅行 7月 夏まつり 江東特別支援学校 プール（江東、墨東特別支援学校） 8月 七時雨ゆめのつどい 9月 復興支援イベント なんでもやろう会② 避難訓練（火事） 10月 きょうされん全国大会 in 和歌山（代表参加） ゆめまつり 江東区民まつり 12月 江東区障害者福祉大会 望年会 1月 成人・還暦祝い、餅つき 江東区障害者作品展 なんでもやろう会③ 2月 ゆめグループ総括会議 3月 復興支援イベント（味噌づくり） 避難訓練（地震） 	

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者との面談を定期的に行う。(全員半年に1回+一人ずつ週1回) ② 給料と評価基準を明確化し、利用者が理解できる形で進める。 ③ 利用者の希望に沿って班を決め、責任感、作業意欲が向上できるように支援していく。 ④ 利用者・職員に対するアンケートの実施 ⑤ 利用者・職員に対し、経営状態の公開 ⑥ 職員研修へ積極的に参加し、スキルアップをめざしていく。 ⑦ 「何でもやろう会」勉強や親交を深める行事の立案・実施 ⑧ 「みんなに知ってもらおう会」自分の事を理解してもらうための会を実施 ⑨ 新商品開発 「フォー」「ハンバーガー」「レトルトカレー」 ⑩ 復興支援活動は、東北に加え熊本、広島等も加える ⑪ ホームページの充実 ⑫ 現在繋がっている企業への販売頻度を増やす。販路を拡大する。 ⑬ コミュニティスペースの有功利用(3カ月に1度小イベント開催) ⑭ 広報活動として、店舗のイメージキャラクター「ゆめまる君」ロゴ入りの商品作り。産直野菜販売を強調する看板作り ⑮ 店外で野菜販売を行い集客力を上げる ⑯ 就労希望者には、求人情報を提供、履歴書の書き方、面接同行等の支援を行う。
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2020年度ドリームクラブハウス事業計画

事業所名	ドリームクラブハウス
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂1-15-8
管理者	藤森 幹朗
事業の目的	<p>障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援を行う。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p> <p>文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるように支援する。</p> <p>生活のリズムを大切にしながら、病気とつきあい地域生活を送る事ができるよう支援する。</p>
事業の内容	<p>作業(労働)</p> <p>① 自主製品製造販売(特に革製品、編組コースター)記念品、ノベルティー商品の開発および宣伝、営業活動。 コースター材料の開拓 在庫として蓄えていた、リボンが少なくなり草木染色、古裂など利用してのクオリティーの高いコースターの開発。</p> <p>② ネジの箱詰、梱包出荷作業。</p> <p>③ 北一ビル4F 行事用資材置き場の管理委託。</p> <p>④ 常設販売場所の開拓。 販売活動を積極的に進める。特に通常の開所時間(月～金9:00～16:00)に販売できる場所の開拓と既存の販売会へ積極的に参加する。 販売、接客に必要なマナー、挨拶、身だしなみなどを社会生活に必要なスキルとして学ぶ</p> <p>文化的活動</p> <p>①創作活動(月1回) 美術作品の制作</p> <p>②作品展への出展(きょうされん作品展・江東区作品展・かかしコンクール)、ギャラリー展示</p> <p>③毎週末の外出、レクリエーションの実施。</p> <p>自治活動①メンバー自治会の組織</p> <p>②「何でもやろうかい」の立案・実施</p> <p>③月曜日の利用者主体のミーティング。</p> <p>その他 ①宿泊訓練(1泊2日)</p>

	<p>②希望者には送迎を実施する</p> <p>③給食は実施しない(仕出し弁当を斡旋する)</p> <p>④利用者アンケートを実施する</p> <p>⑤自立支援協議会精神部会に積極的に参加。</p> <p>⑥就労を目標にする利用者が増えてきたので積極的に相談機関を案内し、サポートを強化する。</p>
健康管理	<p>年1回の健康診断を実施する(保健所で実施)</p> <p>体重増加や生活習慣病への注意喚起、通院、栄養相談などに必要があれば同行。</p>
年間計画	<p>4月 入所式 ゆめグループ全体会</p> <p>5月 なんでもやろう会</p> <p>6月 宿泊研修旅行 避難訓練</p> <p>8月 プール(江東、墨東特別支援学校)</p> <p>ゆめのつどい 岩手県宿泊研修</p> <p>9月 なんでもやろう会</p> <p>10月 ゆめまつり 江東区民まつり</p> <p>12月 江東区障害者福祉大会 望年会</p> <p>1月 成人・還暦祝い、餅つき 江東区障害者作品展</p> <p>2月 東京会議東部ブロック自主製品販売会</p> <p>3月 ゆめグループ全体会 避難訓練</p>
その他	<p>① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行う。</p> <p>② 計画相談の定着を機に、保健師、福祉事務所ケースワーカー、居宅サービス事業者など関係者間のネットワークの再構築を促していく。</p> <p>③ 精神的身体的に調子を崩した時にも必要があれば電話対応などでの確な支援をする。必要がある時は関係機関と連携しながら訪問など行なう。</p> <p>④ 職員の指導力を高めるための研修を実施する</p> <p>⑤ 職員ミーティングを定期的実施する。</p> <p>⑥ 利用者が地域で積極的に社会参加出来るような資源を探すなどニーズに見合った協力や支援をする。</p> <p>⑦ 生活のリズムを大切にして無理しないで病気と付き合っていくことを支援する。</p> <p>⑧ 高齢の家族と同居している利用者の支援。ご家族の介護支援が必要なケースが増えて、そのキーパーソンが利用者の場合が多い。</p>

2020年度ドリーム第2事業計画
本館ドリーム第2 分室リサイクル工房サラエ

令和2年3月31日 現在

事業所名	<p>本館 ドリーム第2 定員20名、登録31名 身：6名 知：18名 精3名 身知：1名 知精：2名 身知精：1名 【男性19名、女性12名】</p> <p>分室 リサイクル工房サラエ 定員10名 登録15名 身：7名 愛：4名 精：2名 知精：1名 身精：1名 【男性10名、女性5名】</p> <p>分室 ドリーム第3 定員10名、登録 未定名</p> <p>職員配置 本館ドリ2 常勤4名 非常勤パート2名(1名るーくる常駐) 分室サラエ 常勤2名 再雇用1名 分室ドリ3 常勤1名 非常勤パート1名</p>
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	就労継続支援B型
所在地	<p>本館ドリーム第2 東京都江東区東砂6-20-7 1F</p> <p>分室リサイクル工房サラエ 東京都江東区東砂5-16-3-101</p> <p>分室ドリーム第3 東京都江東区北砂4-40-9 上地ビル1F</p>
管理者	田中 直樹(13年目)
サービス管理責任者	田中 直樹
ドリーム第2 職員配置	<p>副施設長 才野 結子(6年目)</p> <p>主任 青山 永俊(3年目)ゆめ通算6年目</p> <p>中川 朱乃(3年目)</p> <p>板村 亜由美(3年目)</p> <p>るーくる勤務 城間 みどり(11年目)</p>
リサイクル工房 サラエ 職員配置	<p>副施設長 仲前 幸枝(6年目)</p> <p>池田 岳志(3年目)</p> <p>仲村 末子(13年目)</p> <p>境野 修次(30年以上)</p>

	<p style="text-align: center;">基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していけるようにする。 3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし生き生きとした毎日が過ごせるようにする。 4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。 5. 他の支援機関と協力し一般就労に向けて支援する。 6. 利用者本位の作業を進めていく 7. 何でもやろう会、暑気払い、事業所望年会は3事業所合同で行なう。
<p>事業の目的</p>	<p style="text-align: center;">支援方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 見通しや責任感を育てる役割、グループの設定。 (2) 生産目標、売上目標を立て定期的にわかりやすく作業をふりかえり、今後の見通しをもつ。 (3) 安定した作業と、難易度の高い工程への組み合わせで意欲を育てる。 (4) 給料増額にむけて地域や企業に利用者さん自身が考え、販路を広めていく。 (5) 利用者本人の得意不得意や興味関心をしっかり見極め、作業内容に組み合わせながら、本人のモチベーションを向上させる。 2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していけるようにする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) リーダー会の一層の充実をはかる。 (2) おたがいのがんばりや成長を利用者同士が気付き合い評価し合える場面を作っていく。 (3) お互いの障がいになる部分を理解し支え合う場面を作っていく。 3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし生き生きとした毎日が過ごせるようにする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 作業の様子、作業以外での様子を職員が共有、力を発揮できる場면을意識的に作る。 (2) 問題の直面化などを意識的に行い利用者の相互作用により解決していく場面を作る。

	<p>(3) 身体、知的、精神、自分の苦手な事を理解し、意識的に考え行動できるように支援していく。</p> <p>4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。</p> <p>(1) 現在の健康状況を職員が把握し、家庭、PT、保健師、医療機関との連携を図り必要な援助を行っていく。</p> <p>(2) 家庭訪問、個人面談、日常の情報収集などで通所者や家庭の状況を把握し必要な援助を行っていく。</p> <p>(3) モニタリングや、職員間の情報共有に力を入れる。</p> <p>5. 他の支援機関と協力し一般就労に向けて支援する。</p> <p>(1) 就労のための情報を利用者に周知する。</p> <p>(2) トライアル雇用などの制度を積極的に利用する。</p> <p>6. 利用者本位の作業を進めていく。</p> <p>(1) 職員のみで仕事を先導するのではなく、利用者と一緒に考え、相談し仕事の方針を決めていく。</p>
事業内容	<p style="text-align: center;">本館 ドリーム第2</p> <p style="text-align: center;">作業(労働)</p> <p>①喫茶班 (10名)</p> <p>(1)喫茶『たむろす』営業</p> <p>喫茶店での接客、調理。新商品考案や地域への周知を強め、就業意欲、工賃アップに繋げる。接客、調理技術のさらなる向上を目指す。併せて店舗内貸切も行っていく。</p> <p><u>☆2019年度、1日の売り上げ目標を立て、売り上げは上がった。しかし外部のお客さんが増えたわけではなく、法人内部へのケーキ販売などが主な売り上げとなっている。2020年度は外部のお客さんへ積極的にアピールし、売り上げアップにつなげる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幟の設置 ・外部の喫茶店へ伺い、内装や料理の盛り付けなどの勉強へ行く ・ネットワークゆめ工房と協同して喫茶のコーヒーカップ、茶碗、皿など喫茶店にあった物に一新する。 <p>(2)外販</p> <p>様々な企業と提携し、企業内での販売をしていく。対面式の販売を行い。接客技術の向上を目指す。また、お客さんの声をじかに聞くことにより、商品へのプロ意識を育てる。</p> <p>(3)外注</p> <p>地域の関連事業所への弁当配達。毎月10食前後。</p>

(4) るーくるへケーキの販売

売上アップや調理技術の向上をめざし、るーくるへのケーキ販売を2019年度後半より開始している。現在チーズケーキのみであるが、今後ケーキの種類を増やしていく予定。

②厨房班 (15名)

(1) 江東区役所「るーくる」にて、軽食の販売

5年前と比べ、200万売り上げが下がっている。原因として商品の倦怠が考えられる。今年度は既存の商品も大切にしながら新商品を開発していく。

(2) 外販

様々な企業と提携し、企業内での販売をしていく。対面式の販売を行い。普段行わない接客の技術向上を目指す。また、顧客の声をじかに聞くことで、商品に対する意識の向上をする。

(3) 地域夕食

地域への食事配達サービス。利用者主体で毎月の献立を考える。調理過程でも利用者が主となり作業を進めていく。調理技術の向上を図り、よりおいしい料理を提供する。現在、GH3ヶ所、利用者さん1名。

(4) 外注

2019年度、関係事業所からの新規外注(弁当・オードブル)が増えた(2か所)。そこから口コミで広がる新規の大型の外注も対応していく。

☆29年度「家庭料理技能検定」5級を受験し料理の基礎知識を学んだ。その知識を活かした献立作りや調理の質の向上を目指す。

☆2019年度、「家庭料理技能検定」を受験予定でしたが、人員体制の不足があり対応が出来なかった。31年度は『家庭技能検定』試験に再挑戦。5級に合格した方は4級を、合格できなかった方は5級を再チャレンジしさらなる向上を目指す。

③裏方班 (7名)

るーくる商品の原材料表示のシール作成、貼り。事業全体の会計担当。事業所間の書類の運搬。

28年度より、事務作業だけではなくお菓子作りに力を入れ始め、『ブラウニーケーキ』は人気商品となる。また、利用者の移動などにより製造が職員頼みになっていたため、2020年度より利用者職員が協力して製造できる体制を整えていく。

事業内容

分室 リサイクル工房サラエ

作業(労働)

ショップ班と裏方班の2班で5つの事業を行なっていく。
今ある仕事を大切にしながら、仕事を「もらう」という意識から自分たちが主体となって仕事を「選べる」ようになることを目標に、ひとつひとつの作業を丁寧に行います。
そのために、「話す」「伝える」「考える」時間を意識して作っていきます。

①リサイクルショップサラエ事業

リサイクルショップサラエを営業。地域の方から提供していただいたリサイクル品を動作確認、清掃、価格設定等を行い接客(レジ打ち、接客)を通して地域の方々と係わり、繋がりを持ちながら社会性、人間性を身に付けていく事を目的とする。

来客、売り上げ共に低迷しているため、チラシ作成、ポスティングなどの宣伝活動を定期的実施し、広く知ってもらい、来客・売り上げの向上を目指す。

②バスソルト事業

株式会社スパスマインドからの下請作業。
大手高級ホテルのアメニティグッズのバスソルトの作成、梱包、出荷を行なう。岩塩に香りを付け、シーラーで封をして出荷する。
単価 1個2.5円

③イーチャリティー事業

株式会社フロムケアが手掛ける^{イーチャリティー}e-CHARityプロジェクトの一つで
電動自転車のリサイクル事業の一部の作業を委託される。

自転車のタイヤ交換、リムの交換

単価 1個200円⇒作業時間1個10～15分

電動自転車の充電器の清掃

単価 1個100円⇒作業時間1個15～20分

電動自転車のバッテリーの清掃

事業内容

単価 1個100円⇒作業時間1個10～15分

ブレーキカット

単価 1本10円⇒作業時間10本10分

スポークはずし

単価 1個200円⇒作業時間1個15分

チャイルドシートの張替え交換

単価 1個100円⇒作業時間1個20分

④自主製品

江東区役所2階『るーくる』にて販売するミサンガ、メガネストラップ、ネームホルダーなどを作成。お客様からのリクエストを取り入れた色や素材を使ったウッドビーズネックレスの売り上げが好調。仕入れ、作成過程でも利用者が中心となり作業を進めていく。

⑤印刷業

事業所移転の関係で請け負う仕事の量は全盛期の3分の2程度に減らしたが、今年度も継続して印刷業を行なっていく。

江戸川区や葛飾区の小中学校の卒業文集や研究論文の冊子作成、江東区内の民間団体の機関紙の印刷、配達、障害者団体の印刷物作成や封入、印刷物の丁合、発送業務などを行っている。

また、イベントのポスター、チラシ作成なども行っている。

分室 ドリーム第3(仮)

基本的な方針

1. 利用者主体
2. 支えあう雰囲気作り
3. 医学モデルではなく、社会モデルでの考えに基づき、利用者ひとりひとりの作業面、対人面、生活面等での障害になっている事を考え、ひとりひとりに合わせた支援を行う。
4. 障害の重い、軽い、種別等で様々な面で諦めることをしない。
5. 地域に根付いた活動をしていく。

	<p style="text-align: center;">作業(労働)</p> <p style="text-align: center;">カフェ班と裏方班の2班で作業を進めていく予定。</p> <p>①カフェの営業</p> <p>カフェの名前未定。利用者さんと職員みんなで考えていきたいと思っています。</p> <p>喫茶店というよりカフェというスタイルで事業を行ないます。</p> <p>4月より利用者さんとメニュー決めから始め、接客練習、調理方法、美味しいコーヒーの淹れ方を訓練していき、6月にはお店をオープンしたいと思っています。</p> <p>カフェでは最初からメニューを多く作らず、利用者さんが最初から最後まで1人でもできるメニューから出していき少しずつメニューを増やしていこうと思います。</p> <p>②江東区役所るーくる</p> <p>江東区役所るーくるにも商品を出せるようにしていきます。</p> <p>以上の2つの事業を柱に一年目を進んでいこうと思います。</p> <p style="text-align: center;">文化的活動</p> <p>①創作活動(月1回) 美術作品の制作</p> <p>②作品展への出展(きょうされん作品展・江東区作品展)</p> <p>③学習会(手話など)</p> <p style="text-align: center;">自治活動</p> <p>①仲間の自治会組織</p> <p>②「何でもやろうかい」(年4回)の立案・実施</p> <p>③月末に誕生会を実施(本館)</p> <p>④暑気払い、年末のお疲れ様会の実施</p> <p style="text-align: center;">その他</p> <p>①宿泊訓練(1泊2日)</p> <p>②希望者には送迎を実施する。(無料)</p>
健康管理	<p>年1回の健康診断を実施する。(保健所で実施)</p> <p>通院付添いを必要に応じて行う。</p>

<p>年間計画</p>	<p>4月 入所式 ゆめグループ全体会 5月 メーデー きょうされん東京大会 メトロック参加 6月 宿泊訓練(選択式) こびあ祭り参加 7月 プール(江東、墨東特別支援学校) 8月 第3回ゆめのつどい(選択式) ドリサラ暑気払い 9月 きょうされん全国大会(愛知県) 10月 ゆめまつり、江東区民まつり 12月 江東区障害者福祉大会 ゆめグループ望年会 ドリサラお疲れ様会 1月 成人・還暦祝い、餅つき 江東区障害者作品展 3月 ゆめグループ総括会議</p>
<p>その他</p>	<p>① 31年度個別支援計画案を本人と面接の上原案を策定し、30年4月に利用者本人の同席のもと説明し、調整し同意を得て30年度個別支援計画を策定。6か月後にモニタリング見直しを行う。 ② 職員の支援力、障害福祉の基礎知識から高めるため様々な勉強会や江障連への参加を勧めていく。 ③ コミュニケーション力の向上のため対面販売を行う作業所への実習なども積極的に行う。 ④ 就労希望者には情報提供と実践力を培う練習との両面で就労支援を行う。 ⑤ 職員のメンタルケアを丁寧に行っていく。 ⑥ ☆<u>現在、通所できてない方の通所へ繋がる支援も進めていく</u>☆</p>

作成者：田中直樹

2020年度ひだまり事業計画

事業所名	生活寮ひだまり
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	江東区心身障害者生活寮運営費助成事業
所在地	江東区東砂8-19-7
管理者	中村 幸江
事業の目的	<p>基本方針</p> <p>障がいのある人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。</p> <p>運営方針</p> <p>(1) 入居者の自主性を尊重し、個人の尊厳、プライバシーを守る。</p> <p>(2) 入居者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう入居者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う。</p> <p>(3) 地域社会との交流を深め、関連する障害者団体との連携をはかる。</p>
事業内容	<p>(1) 健康管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮する。 ・必要がある場合は、医療機関への通院を支援する。 ・感染予防のため、手拭き用ペーパータオルを用意する。 風呂マット、手拭きタオルを個別に分ける。 ・週1回、居室、共同スペースを全員で清掃する。 寝具等の大物洗濯、乾燥を支援する。 <p>(2) 健康に配慮した食事の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の身体の状態・希望や嗜好、栄養を考慮した食事を提供する。(平日：朝食(賄い)、夕食(ドリーム第2の配食) 土日祝日：夕食(弁当) <p>(3) 入浴、排せつ又は食事等の介助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介助を行う。 <p>(4) 日中活動援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場や、通所施設等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、入居者の活動を支援する。

(5) 余暇活動等の支援

- ・休日や余暇時間には入居者のニーズに沿った外出支援、趣味活動等支援する。

(6) 相談・助言

- ・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応し、相談の場を設け助言する。

(7) 金銭管理の援助

- ・自立生活に向けて金銭管理が自分でできるように支援する。

(8) 家族との交流

- ・入居者と家族間の連絡調整を行う。

(9) 行事

- ・年間計画を立て、誕生会、季節の行事、旅行、食事会等を企画する。
- ・町内行事（東砂八丁目町会日帰りバス旅行）等にも積極的に参加する。

(10) 緊急時の対応

- ・入居者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療機関等への連絡や必要な措置をとる。
- ・入居者に事故等が発生した場合には、直ちに利用者家族、関係の障害福祉サービス事業者等に連絡するとともに、必要な措置をとる。

(11) 防災関連

- ・年2回避難訓練（火事・地震）を実施する。
- ・町内で行われる防災訓練に参加する。
- ・定期的に避難袋・用具の点検・見直しを行う。

(12) その他

- ・寮生活が円滑に進むよう毎月、寮会議を行う。

2020年度ひだまり第2事業計画

事業所名	生活寮ひだまり第2
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	江東区心身障害者生活寮運営費助成事業
所在地	江東区大島3-25-5
管理者	柳 春夫
定員	5名（現在籍者5名）
職員体制	常勤職員3名によるシフト体制
事業の目的	<p>基本方針</p> <p>障がいのある人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。</p> <p>運営方針</p> <p>(1) 利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。</p> <p>(2) 利用者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう利用者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、生活寮において、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う。</p> <p>(3) 地域社会との交流につとめ、関連する障害者団体との連携をはかる。</p>
事業内容	<p>(1) 健康管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮する。 ・必要がある場合は、医療機関への通院を支援する。 <p>(2) 利用者の健康に配慮した食事の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養・利用者の身体状況・希望や嗜好を考慮した食事の提供をする。 <p>(3) 入浴、排せつ又は食事等の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介護を行う。 <p>(4) 日中活動援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中、職場へ通勤する場合や、通所の施設、デイサービス等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、利用者の活動を支援する。 <p>(5) 余暇活動等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日や余暇時間には利用者のニーズに沿った外出支援、趣味活動等支援する。 <p>(6) 相談・助言</p>

	<ul style="list-style-type: none">・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応して、相談の場を設け助言する。 <p>(7) 金銭管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none">・自立生活に向けて金銭管理が自分でできるように支援する。 <p>(8) 家族との交流</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者と家族間の連絡調整を行う。 <p>(9) 行事</p> <p>花見、誕生会</p> <p>(10) 緊急時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療機関等への連絡や必要な措置をとるとともに、管理者に報告する。・利用者に事故等が発生した場合には、直ちに利用者にかかる障害福祉サービス事業者等に連絡するとともに、必要な措置をとる。 <p>(11) 防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・年2回防災・避難訓練を実施する。 <p>(12) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・65才を迎え介護保険サービスの利用を求められる利用者の不利益を最小限度におさえるため区との話し合い、法人内での検討を進める。介護保険サービスと障害福祉サービスの併用を円滑に進める。
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2020年度ひだまり第3事業計画

事業所名	ひだまり第3(ユニットひだまり第3、ひだまり第4)			
運営法人	社会福祉法人ゆめグループ福祉会			
事業の種類・定員	<p>共同生活援助 定員:10名 登録:10名(令和2年4月1日現在) ひだまり第3:男性5名 50代:2名 60代3名 平均年齢60.6歳 身1名 知3名 身知1名 援護主体:江東区5名</p> <p>ひだまり第4:男性5名 20代:1名 30代:2名 40代:2名 平均年齢36.8歳 知4名 身知1名 援護主体:江東区3名、墨田区1名、横浜市南区1名</p>			
所在地	ひだまり第3	江東区大島3-25-5	ひだまり第4	江東区東砂3-7-11 2, 3F
管理者	田中直樹		サービス管理責任者	藤森 幹朗
職員体制	ひだまり第3	小山 素子(再雇用)	植田奈津子(兼任)	
	ひだまり第4	藤川 洋(常勤)	澤村 容子(パート)	
事業の目的	障がいのある人たちが、地域で自立した生活ができるよう生活の場のと支援の体制を確保する。自立した生活と社会参加を実現できるよう、個々のニーズに応じた支援を提供する。			
運営方針	①入居者の意志および人格を尊重し、プライバシーを守る ②入居者相互の共同協力を重視し、楽しく規律ある生活を送れるよう配慮し支援する ③心身の健康管理に留意する ④必要な介助体制を確保するために、外部サービスも利用する(必要な手続きを進める)			
事業の内容	①入居者の健康に配慮した食事を提供する ・パート職員による食事提供のほか、必要に応じ配達食を利用 ②健康管理に配慮する ・日中活動利用事業所での健康診断を受診する ・通院を支援する。必要に応じて外部サービスを利用する ③入浴、排せつ、摂食、部屋の整理、洗濯等を支援する ④余暇活動の支援 ・休日の外出支援、宿泊旅行支援。外部サービスも利用。 ⑤金銭管理の援助 ・買い物等の具体的な支援も行う ⑥日常生活の問題や将来のことなど相談・助言する ⑦家族と交流			
緊急時の対応	①家族・後見人等との連絡を密に行う ②主治医や医療機関との連絡提携を迅速に行なう ③区はじめ担当機関に迅速に報告する			
防災訓練	年2回防災・避難訓練を実施する			

<p>その他</p>	<p>ひだまり第3、第4 共通</p> <p>①寮会議(入居者・職員)を月一回行ない課題等を協議解決する支援計画を作成する。サービス等利用計画作成に協力する</p> <p>②報酬改定にともない収入が大きく下がる。 安定した運営ができるように外部サービス利用型から包括型への移行を視野に入れていく。</p> <p>ひだまり第3</p> <p>①高齢の利用者が安心して生活できるようにする。 老朽化した設備の改修、玄関、共有部分などにスロープ、手すり等の取り付け。 朝食、朝の健康チェック、見守りが可能な職員体制を検討する。</p> <p>②宿泊旅行より日帰り旅行を増やして欲しいという、利用者のニーズに合わせて行事を企画検討する。</p> <p>③職員間でスタッフミーティングが出来るようなシフトを工夫する。</p> <p>④災害、特に大型台風上陸時などに備え、地域の避難場所を障害を持つ利用者が利用できるか確認する。</p> <p>ひだまり第4</p> <p>①平成29年度、30年度、31年度と三期に亘って実施できなかった海外旅行に行く。</p> <p>②職員のスキルアップの為、積極的に研修会に参加していく。</p> <p>③土日勤務の職員体制を検討する。</p>
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2020年度いぶき寮事業計画

事業所名	いぶき寮
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	共同生活援助（介護サービス包括型）
所在地	東京都江東区枝川1-8-15-714、904
管理者	安部 慎太郎・田中 篤子
事業の目的	<p>基本方針</p> <p>知的障害を持つ人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。</p> <p>運営方針</p> <p>(1) 利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。</p> <p>(2) 利用者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、共同生活住居において、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。</p> <p>(3) 地域社会との交流につとめ、関連する障害者団体との連携をはかる。</p>
事業内容	<p>(1) 健康管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮する。 ・必要がある場合は、医療機関への通院の支援を行う。 <p>(2) 利用者の健康に配慮した食事の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の身体の状況・希望や嗜好を考慮した食事の提供を行う。 <p>(3) 入浴、排せつ又は食事等の介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介護を行う。 <p>(4) 日中活動援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中、職場へ通勤する場合や、通所の施設、デイサービス等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、利用者の活動を支援する。 <p>(5) 余暇活動等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日や余暇時間には利用者のニーズに沿った外出支援、趣味活動支援を行う。 <p>(6) 相談・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応して、相談の場を設け助言を行う。 <p>(7) 金銭管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立生活に向けて金銭管理が自分でできるように支援する。

	<p>(8) 家族との交流</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者と家族間の連絡調整を行う。 <p>(9) 行事</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者のニーズに応じて、外食、旅行、視察・見学会等の行事を実施する。 <p>(10) 緊急時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療 機関等への連絡を行う等の、必要な措置をとる。・利用者に事故等が発生した場合には、直ちに利用者にかかる障害福祉サービス事業者等に連絡するとともに、必要な措置をとる。 <p>(11) 防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・年2回防災・避難訓練を実施する。
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2020年度丸山ハイツ事業計画

事業所名	丸山ハイツ
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事業の種類	共同生活援助
所在地	1) 丸山ハイツ：東京都江東区亀戸4-21-6 2) 東砂ハウス：東京都江東区東砂6-20-7
管理者	岡田 芳久
事業の目的	精神障害者の地域生活における生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進することを目的とする。
事業の内容	<p>生活訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活のリズムの調整。 ② 洗顔、歯磨き、入浴、着替え、洗濯の指導。 ③ 炊事や栄養面での助言。 ④ 服薬の声掛け、薬の飲み方の助言。 ⑤ 各居室のそうじ、整理整頓の指導。 ⑥ ゴミ出しやトイレ、浴室のそうじなど、当番の声掛け。 ⑦ 金銭管理の指導。 ⑧ 共有スペースなどの利用ルールの順守 <p>日中活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日中活動として利用している関係機関との連携。 ② まだ日中活動の場を持たないひとには、通所施設の紹介、見学同行。 <p>相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 計画相談支援利用の手続き支援や、セルフプラン ② 状態悪化時や、不安時の相談。 ③ GHでの人間関係の調整や、家族関係の調整。 ④ 利用者が抱えるさまざまな思いへの寄り添い。 ⑤ 夜間などの電話相談。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 夕食の提供。(月から金) ② 必要に応じて、通院の介助。 ③ 障害年金など、様々な手続きの助言、および関係機関への同行。

健康管理	年1回の健康診断を実施する（保健所で実施） 顧問医との面談を定期的実施する。
年間行事	<p>4月 入所式（ゆめグループ）</p> <p>8月 江東花火大会（東砂ハウス） 暑気払い（丸山ハイツ・東砂ハウス）</p> <p>9月 宿泊訓練（ゆめグループ）</p> <p>12月 クリスマス会（丸山ハイツ・東砂ハウス） 望年会（ゆめグループ）</p> <p>1月 新年会（丸山ハイツ・東砂ハウス）</p> <p>3月 花見（グループホーム合同）</p>
その他	<p>① 個別支援計画の作成のため、利用者や保護者、関係機関との話し合いを定期的に行なう。</p> <p>② 職員の指導力を高めるための研修を実施。発達障害に関する研修など</p> <p>③ 寮費（食費、日用品費、光熱費）の内訳、および返金の内訳を利用者が理解出来る形で明確化。</p> <p>④ 毎月寮会議を実施し、利用者同士の交流や行事の企画などを行なう。</p> <p>⑤ 防災訓練を実施。</p> <p>⑥ 新任職員の研修に力を入れる。</p>
課題	<p>① 各部屋の空き期間をできるだけへらす</p> <p>② 発達障害、知的障害との重複障害の対応</p> <p>③ 日中活動の利用が本人の目標通り進んでいない。</p>